



妻西中キャラ めにちゃん

学び磨き鍛える

正しい判断力とたくましい実践力を
もった妻沼西中生を育む学校

発行 熊谷市立妻沼西中学校
電話 048(588)1361
FAX 048(589)0496
令和7年8月18日
第12号

学校だより

平和の尊さを受け継ぐ

校長 清水 利浩



西中の百日紅 R7.8.4 撮影

終戦前夜の1945年8月14日夜11時30分ごろ、グ
ラム島の米軍基地を飛び立ったB29爆撃機、約80機
が、熊谷の市街地に約8000発の焼夷弾や爆弾を落と
しました。熊谷の市街地は一面火の海となり、260名
を越える方が命を落としました。熊谷の空襲は、戦争が
終わるほんの数時間前の出来事でした。

今夏、熊谷市立熊谷図書館で「熊谷空襲の記憶と
平和の継承展」が開催されています。パンフレットに、
「なぜ熊谷が空襲に遭ったのか」を4つ取り上げてい
ます。①大都市だけでなく、熊谷などの中小都市も空
襲して戦争を終わらせようとしたから。②太田市には
戦闘機をつくる中島飛行機工場があり、熊谷にも関連
する軍事工場が多くあったから。③県庁所在地と間違
えられたから。④米軍は、熊谷を関東以北の軍事拠点
とし、戦後の占領政策を優位に進めるようとしたから。

旧妻沼町域の被害は、『妻沼町史』に次のように書かれています。「当町が、アメリカから受けた被
害は、中島飛行場爆撃の余波によるものであるが、1945年4月3日夜、妻沼の住居がB29の投下し
た爆弾の直撃を受けて全焼。2発目の爆弾は、刀水橋南側の橋台を爆破。3発目から斜直線にそれて
いき刀水橋の爆破はまぬがれた。この時中島飛行機小泉製作所は甚大な被害を受けた。」「1945年
7月28日午後3時、町民が米軍艦載機グラマンの機銃掃射にあたり即死した。」と。

第二次世界大戦が終わり、80年となります。私たちは、戦争を体験した方々から、辛く思い出したく
ない戦争にまつわる記憶や体験を直接お聞きする機会は少なくなっています。3年生は、夏休みの課
題で、戦争についてのレポートをまとめています。私たちは、「戦争の悲惨さ」を風化させることなく、次
の世代に語り継いでいく使命があります。そして、「平和の尊さ」について考え、末永く平和を継承して
いく担い手とならなければなりません。

<参考文献> ・『妻沼町史』(昭和52年3月発行)

・「第35回熊谷平和展 ～戦後80周年 熊谷空襲の記憶と平和の継承展～」パンフレット 令和7年7月 熊谷市立図書館

※パンフレットは、図書室にもあります。リーフレット13ページに「なぜ熊谷が空襲に遭ったのか」が記されています。